第36回 法人会全国青年の集い(沖縄大会)の報告

開催: 令和4年11月24日・25日

場所:那覇市コザ運動公園

報告:青年部会長 八木 治

『ゆいまーる 未来をまもり、拓く』

今大会は、3年ぶりのフル開催となり多くの仲間たちが集い、久しぶりの顔合わせに会話も弾みます。今大会を実行された沖縄県青年部会の皆様には心より感謝申し上げます。

あいにくの空模様でしたが、コザ運動公園の中に各会場が設備されていて移動にはとても便利で した。

24日、「租税教育活動プレゼンテーション」では、各局連代表が活動報告をされて最優秀賞には熊本局連代表 鹿児島法人会『税でエールを』が選ばれました。コロナ禍で出前授業やイベントの中止を余儀なくされた中で、皆さん様々な工夫と IT を利用した授業展開を駆使して 3 年前に比べるとどの単位会もレベルアップしていると感じました。

そしてもう一つ「健康経営大賞」の発表では、5単位会の活動発表と5企業の取り組みが報告されました。それぞれ工夫した取り組みの発表で「なるほど」「こんなこともいいのか」ととても参考になりました。

25 日、「部会長サミット」と同時に開催されたのが「会員交流分科会(租税教育)(健康経営)」で、今大会初めての試みです。健康経営分科会(グループディスカッション)に参加した者から大変参考になったと報告がありました。今後もぜひ続けていただきたいと思っています。

大会式典では、主催者の挨拶に始まり来賓祝辞と続き、租税教育活動プレゼンテーションの結果 発表と最優秀単位会の事例発表、健康経営大賞最優秀者の事例発表がありました。次に部会員増強 の表彰、大会宣言、次回開催県連 山形大会の PR と大会旗の伝達を終えて閉幕。その後の大懇親会 でのオープニングでは東京オリンピック空手の金メダリストたちの演武に見とれてしまいました。

3年ぶりのフル開催に参加して、やっぱり青年部会は熱いと感じ、熱のあるうちに開拓しようと決意して帰路につきました。

沖縄 大会宣言

沖縄には「ゆいまーる」という言葉があります。「つながる」「助け合う」という意味で、昔から農作業等を協力し合う「相互扶助」の習慣が根付いています。その精神は時代と共に受け継がれ、沖縄の文化や考え方に欠かせない特色となっています。「ゆいまーる」の根本は「税」の本質と変わりなく支え合って成り立つ社会にはなくてはならないものです。(途中略)

時代は留まることを知りません。歴史の教科書に記される様な事象が次々と起き、私たちの生活 に影響を及ぼしています。その都度私たちも対応を迫られ歩んできました。

そしてこの第36回全国青年の集い沖縄大会を契機に、情報の共有と有益な交流を確立し、これからも法人会の活動推進の担い手としての役割を全うし、どのような出来事があろうと全国の仲間と共に地域や国の発展を担う子供たちのために自らが先導者として能動的に明るい未来を切り開いていくことをここに誓い大会宣言といたします。